



市之倉だより

多治見市立 市之倉小学校 令和7年11月号

507-0814 多治見市市之倉町 10-381

TEL 0572-22-3702 ホームページ <http://school.city.tajimi.lg.jp/ichinokura/>

子ども達の元気な姿を日々HP にアップしています。お時間があるときにご覧いただき、家族の話題の一つとなっただければと思います。

インフルエンザや新型コロナウイルス、心配です。体調管理には十分お気をつけください。

掃除から育まれる心と、日本人としての美德

校 長

本年度も折り返し地点を通過し、後半へとスタートしました。見つめなおしてみると半年前よりずいぶん成長した子供たちがいます。地域の皆様の日頃からの本校の教育活動への温かいご理解とご協力のおかげです。誠にありがとうございます。

さて、今回は子供たちが毎日取り組んでいる掃除（特にトイレ掃除）について思うことです。

世界の国々と比べても、日本では「自分たちの使った場所は自分たちできれいにする」という文化が根付いています。日本の小学生が当たり前のように学校で掃除をする光景は、海外では「Surprise！（驚き）」として映り、映画になっ

たほどです。これは「誰かのために尽くすこと」や「場を整えることに価値を見出す心」が日本人の中に長く受け継がれてきたためでしょう。



さて、本校の特徴の一つに「トイレ掃除の仕方」を全校で一斉に学ぶ時間があります。これまでの多くの勤務校では、担当の児童生徒を保健室などに集めて説明することがほとんどでした。しかし、市之倉小学校は全校でモニターを見ながら学びます。まずそこに意識の共有があります。トイレ掃除の子がどんな苦勞をしながら掃除をしているかをみんなが知っているのです。これは「誰かの目立たない働きによって自分や身の回りの環境が支えられている」ことを実感し、「感謝の心」につながると考えます。

他にもほとんど監視の目がない校舎中に散らばって行う掃除には、「誰かのためにすることは、自分の誇示のためではない」と理解する「謙虚さ」が育ちます。また、見返りがすぐない中で努力を続ける強さと継続力の「忍耐力」、誰かが困らないように先回りして動く「心配り」や「思いやりの心」、他者からの評価に左右されるのではなく、自分の信念に基づいて働く「内面の自信」、誰かが見ていなくても正しいことをする「責任感」や「誠実さ」も育つと言えると思います。「ちょっと嫌だな」と感じるトイレ掃除ならなおさらです。

書いているうちにちょっと大げさになってしまいましたし、子供たちに上段から「掃除はこんなに大事だ！」とは言うこともしません（日ごろからよくやってますし）が、こんな日常からも「自分を大切に作る心」や「人を思いやる心」、「誰かの頑張りを想像する心」「社会の一員としての意識」、そんなものが何となく育ってくれたならいいな、と考えています。

よろしければご家庭でも話題にさせていただけると幸いです。後期もよろしくお願いいたします。